

KDLスタッフが選ぶ！ 今月のおすすめ資料

2025 May

報道の自由と社会正義

米民間団体ジャーナリスト保護委員会（CPJ）が最近発表した報告によれば、2024年に死亡したジャーナリストや報道関係者は少なくとも124人のぼり、これは集計開始以来過去最多となりました。

毎年の5月3日は、世界報道自由デーです。報道は、真実を明らかにし、権力を監視し、社会正義の実現に不可欠な役割を果たしています。報道の自由を守ることは、市民の「知る権利」を守ることであり、より公正な社会の実現につながります。

今月は、様々な領域で、真実を追い続ける記者たちの努力に注目し、それらの事例を通して改めて権力のあり方について考え直しましょう。



極めて不平等な権力構造と社会的偏見のもとで、性暴力の被害者が声を上げることは、いかに困難でしょうか？記者のミーガン・トゥーイーとジョディ・カンターは、ワインスタイン事件に関して、被害者や関係者に粘り強く取材を重ね、その報道を通じて、多くの人々が加害を告発するきっかけを作りました。



森友学園問題をはじめとする、一度はニュースで聞いたことのある大きな事件を取材する望月記者の活動を追ったものです。現地に足を運んだり、官邸で質問妨害や職員からまともな回答が得られない中で、言論の自由を守るためにしゅざい活動している様子が映し出されています。

➤ モデルとなった記者たちへのインタビューも必見(特典映像)



ボストンの数十人もの神父による児童への性的虐待が、カトリック教会の組織全体で隠蔽され、長年の間多くの罪が黙殺されてきました。ボストン記者は被害者や弁護士らに取材を行い、この衝撃的事実と背後にある真相を解き明かしていきます。



「この国はロケットを飛ばすまでに成長したが、その部分（身分制度）についてはあまりにも遅れている」。

このドキュメンタリー映画はインドのカースト最下位の女性記者たちが、貧困、階層、ジェンダーといった社会問題に踏み込んだ取材をする様子が記録されています。